

**日本たばこ産業株式会社（JT）（東証一部）による鳥居薬品株式会社（東証一部）株式 53.47%、
総額 413 億円の公開買付（TOB）による経営権取得**

（合意契約締結時期） 1998年11月

（当社の立場） 双方企業（JTと鳥居薬品の支配株主アサヒビール株式会社）へ提案し、JT側の
アドバイザーとなる。

（案件の意義）

JTは多角化戦略の大きな柱として医薬品事業に注力し、年間200億の研究開発費を投じ21世紀には、「世界に標準を合わせた質・規模の展開」を図ることを標榜している。一方、アサヒビールは、鳥居薬品株式の51%超を保有しているが、グループ戦略の見直しから、医療用医薬品事業をグループの中核事業として位置づけしにくくなっていた。

こうした両者の戦略に着眼し、双方へ本案件を提案するが、本件M&Aの規模や質的な要素を勘案すれば、双方向の仲介という形ではなく、双方がそれぞれのアドバイザーを立てるのが望ましいという顧客要請に従い、当社はJTのアドバイザーとして本件成立に貢献した。

（アサヒビール側のアドバイザーは野村企業情報）